

東京都内のすみずみから、全国各地から、第36回日本高齢者大会に参加しましょう

はっぴゃくやちょう

第36回日本高齢者大会in東京 東京実行委員会
〒170-0001
東京都豊島区南大塚3-1-12 生方ビル4F
TEL 03-5956-8781/FAX 03-5956-8782
E-mail Tokyo.koureiki@gmail.com



記念講演

柳沢協二さんに決定

元内閣官房副長官補、防衛庁運用局長
など歴任。新外交イニシアティブ理事
NPO法人国際地政学研究所理事長

第36回大会準備進む！

11月12日(日) 分科会会場は

大正大学

※分科会は13：00～16：30

11月13日(月) 全体会会場は

文京シビックホール

※全体会は10：15～13：00

第36回日本高齢者大会開催の目的

- 1) ロシア侵略によりウクライナ戦争が現実のものとなり、日本も戦争する国か、平和を追求する国か。高齢者と多世代が手を結び、憲法の平和的生存権を生かす方向で運動の連帯を広げる大会にする。
- 2) 高齢期運動と高齢者大会は車の両輪である。高齢者大会の成功は高齢期運動の前進の条件。
- 3) 世界人権宣言75周年を記念し、国連がキャンペーン期間にとりくむ1年。国内に人権意識を浸透させ、高めること。そして日本高齢者人権宣言を学び、運動に生かし、交流する1年にする。
- 4) 地域に高齢期運動のねがいや要求を実現するための高齢期運動を前進させる上で高齢者大会は不可欠の大会である

広報担当

「はっぴゃくやちょう」？

実行委員会ニュースの名称をどうするか？を検討しました。京都大会の「おいでやす」は良かった、じゃあ東京はどうするか？ 江戸言葉で適当なのはないか？ いろいろと出しあいましたが「はっぴゃくやちょう」に決めました。「花のお江戸は八百八町」実際はそんなにないのですが、さて現在の東京は62区市町村（23区、26市、5町、8村）全国では1,741（792市、743町、183村、23特別区）全国では八百八町を超えますね。第36回日本高齢者大会は東京のすみずみ、そして全国のすみずみから高齢期運動の波を作り上げていこう、ということで「はっぴゃくやちょう」にしました。

文字通り「はっぴゃくやちょう」にするために、それぞれの地域での話題や取り組みを取り上げていきたいと思えます。各地域での取り組みや話題など実行委員会にお寄せください。

第36回日本高齢者大会 は東京開催です

○東京実行委員会結成

2022年12月21日に第一回実行委員会を開催しました。実行委員会では初めに第35回日本高齢者大会in京都の感想を出し合い意見交換をしました。東京で開催するにあたって、①高齢期、高齢者をめぐる情勢、②開催目的の確認、③高齢者大会の歴史と意義④大会の概要、⑤実行委員会の体制、⑥記念講演、⑦大会の特長⑧分科会・講座、などを討議しました。

実行委員会は月1回の開催で2月28日に第3回を開催しました。実行委員会は(1)総務担当、(2)企画担当、(3)組織担当、(4)設営担当(5)広報担当、(6)財政担当、(7)三多摩担当、と7部門に任務分担して取り組みを開始しました。

○実行委員会に参加し、実行委員を送りだしてください

大会を成功させるためには実行委員が足りません、各団体から、地域から実行委員の選出をお願いします。

○サポーターも募集しています

企画に参加したい、新聞づくりは得意だ、ネット関係は任せて、設営なら出来る、組織は任せて、など大歓迎です。

実行委員会体制（2月28日現在）

代表委員 小澤満吉（全日本年金者組合東京都本部）

野口勤（東京退職者の会連絡会）

大橋光雄（三多摩高齢期運動連絡会）

木原秀子（東京母親大会連絡会）

吉岡尚志（東京高齢期連絡会）

事務局長 菅谷正見（東京高連事務局長）

事務局員 現在13名（追加していきます）

実行委員 各組織から（各組織で担当を決めてください）

サポーター 現在9名（追加していきます）

地域実行委員会

都内全地域に要求運動と結合して地域実行委員会を組織することを目指します。

東京実行委員会の任務分担

1) 総務担当

実行委員会の連絡、会場確保、記録、日程管理など

2) 企画担当

分科会、学習講座、全体会の企画、調整、実施など

3) 組織担当

実行委員会構成、地域実行委員会組織、参加組織、要員組織

近県対応、オルグ活動

4) 設営担当

会場設営、備品消耗品の準備・運搬、PC関係準備、Web準備

5) 広報担当

広報宣伝、ニュースの発行、ホームページ・ネット対策

6) 財政担当

7) 三多摩担当

三多摩地域実行委員会の組織

※大会成功には多数の実行委員・サポーターが必要です。

【2023年11月まで、実行委員会ニュースを発行し、東京高齢期運動連絡会のニュースはお休みします】

葛飾区

地域の話 第1回

葛飾高齢者懇談会

葛飾の高齢者運動の始まりは1982年8月に鈴木内閣の下で強行された老人保健法の成立です。せっかく勝ち取った老人医療費無料が有料にされたのです、1983年2月1日が老人保健法の施行日でこの日から有料にされました。葛飾では葛飾区に対して「入院見舞金制度」の創設を求めて取り組みましたが実現しませんでした。この取り組みの中で高齢者の恒常的な取り組みが必要だとの思いから「葛飾みんなで老後を豊かにする会」を結成しました。

30年ほど続いた会も高齢化によって活動が出来なくなりましたが2015年1月31日に新たに「葛飾高齢者懇談会」を結成しました。「懇談会」は団体会員9団体、個人会員34名で出発しました。主な活動は①葛飾高齢者のつどい②葛飾区への要求活動③日本高齢者大会や東京のつどいへの参加④学習活動です。

第35回日本高齢者大会in京都へは12名が現地参加しました。（右の写真）



第35回日本高齢者大会in京都での葛飾からの参加者

2023年度は9月ごろに総会と「葛飾高齢者のつどい」を開催する予定です。第36回日本高齢者大会in東京へも多くの参加者を組織していきたいと思っています。

企画担当 一分科会の進捗状況

企画担当者はこの間3回の会議を開いて学習講座・分科会について検討を重ねています。現在の検討状況は以下の通りです。さらに絞り込んで内容を充実させ、講師・助言者などを決めていきます。

学習講座・分科会企画(案)

- 1, 平和と民主主義
 - ①なぜ、どうなるウクライナ戦争
 - ②米中対立と台湾問題
- 2, 新たな戦前と憲法、戦争と平和
 - ①岸田内閣の昨秋からの動き
- 3, 憲法と人権をくらしに活かす…日本高齢者人権宣言
 - ①「人権」の今日的意義…戦争、物価高騰、くらし破壊の中で人権を守ることの意義
 - ②日本高齢者人権宣言をどう生かすか
- 4, ジェンダー平等社会の実現「コロナ禍における孤独と孤立」
- 5, 地球温暖化と国民の暮らし「気候変動と地球温暖化、再生可能なエネルギー中心の社会」
- 6, コロナ問題の今後
 - ①コロナ禍で起きた問題 ②今後の対応
- 7, 医療の課題
 - ①75歳以上医療費2倍化の運動と、実施されての現状

- ④マイナンバーカードと保険証廃止問題
- ⑤医療現場の実態と医療労働者との連帯
- 8, これからの社会保障について考える
 - ①全世代型社会保障は何を目指すか
 - ②なぜ高齢者を標的にするのか
 - ③社会保障の理念に対する攻撃
 - ④社会保障は誰の負担を増やすべきか
- 9, 介護問題と介護保険の大改悪の影響とたたかい
- 10, 老人医療無料化サミットパネルディスカッション
- 11, 高齢者人権保障の徹底はすべての人たちとつながるチャンス…高齢化・長寿先進国日本の政策課題を明らかにする…「高齢者が大事にされる社会って!？」
- 12, 高齢者の就労…高齢者の就労の現状と課題
- 13, 交通・足の問題
- 14, 住まいは人権…住宅政策を見直す
- 15, 労働組合、現役労働者との協同、連携
- 16, 若者と高齢者の連帯
- 17, 農業と食料、食糧自給、食糧安保
- 18, 高齢期を生き生きさせる文化活動
- 19, 防災・減災からまちづくりを考えよう
- 20, シンポジウム

あなたも楽しい街づくりのコーディネーターへ
- 21, 教育…学校教育の現状、子どもの現状
- 22, 年金問題…年金と生存権問題
- 23, 原発…原発問題を様々な角度から検討する

移動分科会…数コース検討

日本高齢者人権宣言の実践を持ち寄って高齢者大会を成功させましょう



日本高齢者人権宣言は昨年の高齢者大会で採択されました。今年は実践一年目、まず人権宣言の学習会を開きましょう。そして出来ることから実践に踏み出しましょう。

75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める請願署名の取り組み強化

昨年10月1日から75歳以上医療費の2割化が強行されました。年金削減に追い打ちをかける物価高騰、公共料金の値上げなど年金で暮らす高齢者の生活は厳しくなる一方です。医療費負担が増えれば受診控えを招き重症化することが懸念されます。まさに高齢者の人権にかかわる問題です。軍拡より社会保障を訴えて2割負担中止の請願署名を精力的に取り組みましょう。